

「徳島バッテリーバレイ構想」策定に向けた検討状況について

1. 「徳島バッテリーバレイ構想策定会議」の開催

本県産業の新たな柱として、「蓄電池関連産業」の集積及び人材育成を目指し、実現に向けた県のビジョンとして、「徳島バッテリーバレイ構想」を策定する。

令和 6 年 2 月 19 日、構想骨子案を議題として、第 1 回構想策定会議を開催した。

【構想骨子案の概要】

1 蓄電池関連産業の状況と集積の可能性について

- (1) 蓄電池関連産業の状況
 - ・ 2050 年に約 100 兆円への市場拡大が見込まれる成長産業
 - ・ 国内製造基盤の確立に向けた官民による集中投資
- (2) 本県における集積の可能性
 - ・ 電池材料メーカー、蓄電池メーカー等が立地
 - ・ 蓄電池関連製品の国内出荷額は全国トップクラス

2 バッテリーバレイ構想の実現に向けて

- (1) 基本目標
「徳島への蓄電池関連産業の集積」を基本目標として、
「雇用の創出」と「県民所得の向上確保」を図る。
- (2) 目標年次
2030 年までの 7 か年
- (3) 主な取組内容
研究開発、製品開発支援、人材確保・人材育成、企業誘致 等

2. 構想策定に向けたスケジュール（案）

令和 6 年 4 月中旬	構想（素案）の取りまとめ
4 月下旬	パブリックコメントの実施（5 月中旬まで）
6 月中旬	構想案の取りまとめ
7 月上旬	構想策定